

# 生涯学習だより

2019年(平成31年)

2月 Vol. 211

生涯学習だよりはWEBでも配信中!フルカラーでご覧いただけます。 [ございんホール](#) [検索](#)

## 【報告】みやぎミュージックフェスタ2018 in ざおう

2月3日(日)に「みやぎミュージックフェスタ 2018 in ざおう～ざおうふれあいコンサート～」を開催しました。第1部では、10年ぶりに小村崎地区の伝統芸能「春駒」が生演奏で演じられたほか、遠刈田在住の小学生、伴沙里奈さんが民謡「外山節」を、宮子供神楽組がお神楽を、蔵王太鼓が「屋台ばやし」を披露しました。第2部ではざおうギタークラブ、オカリナございん会、大正琴愛好会、琴さくら会が、宮城県芸術協会を中心としたオーケストラと共演しました。第3部では町内在住のオペラ歌手、我妻健太さん、高木美江さんの演奏や、芸術協会による「真田丸」テーマソングの演奏、第4部では町内の合唱団「蔵王歌おう会」と MYU 社の合唱団が共演し、フルオーケストラの伴奏で「蔵王賛歌」「蔵王町民歌」などを披露しました。ございんホールで活躍する団体の熱演を、約450名のお客様が楽しみました。



## 【報告】地域学校協働活動事業「水辺の楽習(がくしゅう)」

1月29日(火)に永野小学校3年生のみなさんと第4回「水辺の楽習」を行いました。最終回の今回は、縄跳びを体験しました。はじめは、なかなか上手になうことができなかった児童も、ボランティアの方々の優しく丁寧なアドバイスのもと、上手に長く縄をなうことができ長縄跳びもできました。授業の最後には、児童からボランティアの方々へ学習田で収穫したお米を使ったおいしい炊き込みご飯が贈られました。



## 【報告】地域学校協働活動事業「昔の遊び」

2月6日(水)円田小学校にて、ざおうっ子応援団に登録していただいている地域ボランティアの方を講師に招き「昔の遊び」を体験する活動が行われました。1年生がけん玉やこま、めんこ(ぱった)、おはじき、あやとりなど、グループに分かれて遊び方のコツやルールなどを教わりながら順番に体験し、児童からは「コマをいっぱい回せた!」「あやとりが上手になった!」と元気な感想が聞けました。参加したボランティアの方からは「子供達が一生懸命で感心しました」「とても楽しい時間が過ごせました」と話していただきました。



## 【お知らせ】新生活準備コーナー展示中

2月～4月の期間、蔵王町立図書館内に「新生活準備コーナー」を設置しています。小学校や幼稚園・保育所に行くのが楽しみになる本やリーフレットを集めました。おうちの方の気持ちに寄り添う絵本や子育てのヒントになる本もありますので、ぜひご覧ください。

◎蔵王町オリジナルの新生活支援グッズを配布しています。

- こちらはご自由にお持ち帰りいただけます。
  - 紙芝居「できるかな」(冊子版)
  - 「はやね はやおき あさごはん」チェックシート
- それぞれ入園用と入学用を準備しています。どうぞご利用ください。



## 【報告】蔵王町公民館「リフレッシュ♪MamaCafe～親子でたのしい豆まき会～」

2月1日(金)に「リフレッシュ♪MamaCafe～親子でたのしい豆まき会」を開催しました。今回は、子育てサポーターチーム“すまいるハート”の方々に企画運営をしていただき、鬼のお面づくりのあとに豆まき、へび人形、お茶会を行いました。親子で協力し和やかな雰囲気、オリジナリティ溢れるお面をつくる様子がみられました。また、豆まきでは、サプライズで怖い鬼さんとざおうさまが登場し、みんなで「鬼は外、福は内」と元気に声を出して怖い鬼さんを退治しました。



## 【文化財コラム】タイガー手廻し計算器～歯車の回転を利用した計算器～

写真の道具はタイガー手廻し計算器といい、本体上部のダイヤルで数値を入力し、右側にあるハンドルを廻すことで、内蔵された歯車の回転により最大20桁までの計算ができる道具です。

歯車を利用した計算器具は、1600年代にヨーロッパで考案されました。我が国では、大本寅治郎という人物が1923年(大正12)に小型・高性能な歯車式計算器を開発し、『寅印計算器(タイガー計算器)』として商品化しました。そろばんや計算尺といった熟練を要する計算器具しかなかった当時、誰でもミスなく複雑な計算ができるタイガー計算器は重宝され、電卓が普及する昭和45年まで製造されました。

写真のタイガー計算器は蔵王町役場で導入した唯一の手廻し計算器で、町の予算を与る収入役が管理していました。当時、職員はそろばんを使っていましたが、予算編成など大きな計算をするときには、特別にこの計算器を使わせてもらったのだそうです。

※タイガー手廻し計算器を展示しています。

ございんホールロビー/3月10日(日)まで



## 【ございんゆるコラム】「心の安全基地」

二月は逃げる。時間が逃げる。気がつくと二月は“あっ”という間に過ぎて行く。入園、入学の準備をすすめている時は、わが子の成長をたのしみにしていることと思います。ドキドキでもありワクワクでもあります。小さいお兄さんお姉さんたちは新しい学年へ進級です。大きいお兄さんお姉さんたちは、楽しい友だちともあと一ヶ月もしたらそれぞれ新しい道へすすむこととなります。名残り惜しい時ですね。ひとつずつ大人への階段を昇って行く子ども達の前には、新たな試練が待ち受けているかもしれません。つらく苦しいときも自分で乗り越えなければならないこともあります。どうか子どもたちの心が苦しくてつぶれてしまわないように、家庭が暖かい安全基地であることを伝え、支えてあげてください。

問い合わせ/蔵王町ふるさと文化会館 電話: 33-2018 FAX: 33-2019  
平成31年2月15日発行 編集 蔵王町教育委員会生涯学習課